指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1)	公の施設の名称	老人福祉センター 倉敷市まきび荘	
	指定管理者	所在地 倉敷市笹沖180	
(2)		名 称 社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団	
		代表者 理事長 藤 澤 徳 久	
(3)	公の施設の所管部署	健康福祉部健康長寿課	
(4)	評価対象期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで	

2 総合評価結果

		・令和7年2月5日に実施した立入監査の結果、良		
	市の評価	好な管理運営がなされていることが確認できた。 総合割		
		・令和7年3月に実施したアンケート調査の結果、		
		現行の指定管理者は、利用者から好感を持って受け		
(.)		入れられていることが確認できた。	S	
(1)		・今年度重視して評価を行った「施設の衛生管理」		
		については、屋内外の清掃や整理整頓、建物及び設		
		備の維持管理と修繕に努めており評価できる。		
		・以上の点から、評価対象期間において、社会福祉		
		法人倉敷市総合福祉事業団は適切に指定管理業務		
		を遂行したと判断する。		
	指定管理者の自己評価	まきび荘では、地域の高齢者に対し各種の相談に応じると		
		ともに、学ぶ意欲に応じた様々な講座を開講し、併せて創作		
		を楽しむ場を提供しました。		
		各種相談等事業では、心身の健康の維持促進や疾病の予		
(2) ‡		防、フレイル予防や感染対策等について看護師から指導・助		
(2)		言を行いました。		
		いきいき講座では「百歳体操」や「さわやか体操」に加え、		
		本年度も新たに「頭の健康チェック」や「転倒予防教室」を		
		実施し、健康に関心の高い地域の高齢者のニーズに	応えまし	
		た。		

レクリエーション事業では、七夕会・クリスマス会等など 四季を楽しむ事業を実施し、仲間と交流する機会をつくりま した。不定期で実施している手芸等ふれあい会では、手作り を楽しむ場を提供することで社会参加や生きがいづくりの 一助としました。また3館交流事業として、倉敷北高齢者福 祉センター・有城荘とグラウンドゴルフ大会やビリヤード大 会を共催し、相互の利用者の交流の場としました。

また、老人クラブとの剪定作業や地元組織みその会との交流を通じて、地域に根差した施設となるよう努めました。

コロナ禍から続く利用控えの傾向の中、講座や事業の実施 回数を増やすなど利用者増に向けて取り組みましたが、1日 あたりの利用者数は前年度比93.8%となりました。

今後も、地域の高齢者が明るく生きがいをもった生活が送れるよう、ニーズに沿った事業やサービスの充実に努めてまいります。

(3) アンケート結果の概要

アンケート調査の結果、利用者の満足度は、施設全体は99.2%、職員対応は99.2%、施設の衛生管理は97.5%、安全対策は98.3%となった。よって、現在の指定管理者は、多くの利用者から好感を持って受け入れられていることが分かった。

3 施設の利用状況

	利用者数				
(1)			利用者数		胜到事項
			今年度	前年度	特記事項
			5,391人	5,748人	
	事業の内容	(1) センターの使用許可に関する事務			
		(2) センターの維持管理に関する業務			
		(3) 高齢者の生活、住宅、身上等に関する相談ならびに指導業務			
(2)		(4) 高齢者の疾病の予防、治療に関する相談ならびに指導業務			
(2)		(5) 高齢者の生業および就労等の指導業務			
		(6) 高齢者の後退機能の回復訓練ならびに指導業務			
		(7)	高齢者の教養の向上お	およびレクリエーショ	ン等の事業
		(8)	センターの利用者の利	便性を向上させるた	めに必要な業務

4 収支(見込み)

(1) 収入	総額	24,696千円
(1) 収入 (指定管理者の収入)	市からの指定管理料	24,686千円
(相足自垤有の収入)	その他の収入	10千円
	総額	22,003千円
	主な支出 人件費	14,538千円
(2) 支出	光熱水費	2, 312千円
(指定管理者の支出)	修繕料	1 2 6 千円
	業務委託費	5 2 5 千円
	その他	4,502千円